

新型コロナ感染防止対策のためのメイクアップ検定試験実施事項

新型コロナ感染防止対策のため、メイクアップ検定試験実施の追加事項を記載します。

- 道具について
- ・消耗品以外で使用する道具は全て消毒済の物を使用する事。
※消耗品とは[スポンジ、ティッシュ、綿棒、ディスポーザブルアイテム、ゴミ袋など]
 - ・検定試験終了後は、使用した道具は洗浄・消毒を行う事。
- モデルについて
- ・マスクを装着したまま待機する。
 - ・メイクアップ検定3級・2級実技試験の場合は、事前審査開始前に検定員の指示でマスクを外し、指定の事前メイク(赤リップ)を仕上げる。(約5分)
 - ・メイクアップ検定1級実技試験の場合は、事前審査後、検定員の指示でマスクを外す。
 - ・マスクの保管はモデル自身で行う。(テーブルの上には置かない)
 - ・マスクを外した後、会話禁止。
 - ・採点終了後は検定員の指示で、モデル自身でリップをふき取りマスクを装着。
 - ・アイブロウトリートメント検定2級実技試験の場合は、マスク装着のまま行う。
- 技術者について
- ・マスクを装着。
※マスク以外の感染防止アイテム装着については、開催校の規定に準じますがさらなる予防のためできるだけフェイスシールドやゴーグル(保護メガネ)などの着用をお願いします。
- 開催校へのお願い
- ・受験者とモデルの体調管理をしてください。(検温など)
 - ・入場の際は、技術者もモデルも手指消毒をしてください。
 - ・受験者間は2m以上の間隔を開けてください。間隔をあけられない場合は、実施回数(組数)を多くした開催スケジュールを作成してください。
(例)相モデルで前半、後半で各30名で これまでの回数が2回だった場合、20名で3回に分ける。など
 - ・実技試験1回終了ごとに、机・椅子などの消毒と会場の換気をしてください。

以上